

T V 会議システムの効果的な利用

秋田県総合教育センター

教科	効果があると思われる利用	効果があまり期待できないと思われる利用
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実物、写真、絵など視覚的な教材を使っでの授業や質疑応答など双方向の内容を含む授業に有効である。 ・ 担当教師が授業を進行している中で、授業者のニーズに応じてコメントする場面では有効に機能していると思う。 ・ 授業を通してよりも、担当教師との打ち合せ等を通して、共に教材研究を深めたり、展開の方法を考えたりすることで指導力向上と教科研修に役立つ。 ・ 初期層教員の教科指導の力量の向上のための支援ができる。(教材研究) ・ 関心・意欲を高め授業改善の「触媒」として機能するという点で有効である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機会均等という考え方からだと思うが、グループ活動でセンター側と全グループをかかわらせようとすると、十分な指導ができないまま終わってしまう場合が多い。 ・ 前もって提出された指導案をもとに授業展開を考える際、指導主事が授業の展開を修正しつつ参加することになるので、事前に十分な打ち合わせが必要である。また、そうでなければ授業展開を任せてほしい。 ・ 小学校の低学年では、機器そのものへの興味があって引きつける部分と、授業への集中力を削ぐ部分があり、難しいと感じる。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒の疑問に答えたり、アドバイスをしたりする。 ・ 児童生徒の発表に対して、講評したり、補足的な説明をする。 ・ 授業の進め方や内容に対して、担当教師と打合せをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ センター側が板書したり、小さな資料を提示する場合は、どうしても見づらくなる。 ・ 児童生徒の質問や疑問に答えるといっても、詳細なデータを求められる場合、答えづらい。事前に質問項目を提示してほしい。 ・ データの準備などが必要にもかかわらず、指導案の提出が前日や直近である場合、十分に期待に応えることができない。 ・ センターには、何でも資料や教材があると思っっている教師も少なくなく、教材の準備までを依頼するケースもあった。できるだけセンターで揃えたいが、基本的には学校で準備すべき。
算数・数学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数学的な考えを引き出すような、または算数・数学のよさを感じさせるような発問、教材の提示をする。 ・ 学習のねらいに沿った数学的な事象を提示する。 ・ 児童生徒の考えを聞き、次の算数的、数学的活動につなげるアドバイスをする。 ・ 児童生徒の発表を聞き、学習のねらいに沿ったものであるか判断する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学級全員を相手にして課題を解決するように授業を進める。 ・ 練習問題の答え合わせなど演習的な内容の授業にかかわる。 ・ 指導主事が一人で1単位時間のほとんどを受けもって、練り合いをまとめ上げるように学習を進める。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・ センターの施設を利用して撮った映像などを提供する。 ・ 学習した内容を確認したり、興味・関心を高めるためにクイズ的な要素を取り入れる。 ・ 観察、実験において、課題設定や実験計画のヒントになるような情報を提示する。 ・ センターにしかない設備や、備品などを用いて、演示実験などを行う。 ・ 演示実験の中で、時間がかかったり、危険を伴う実験などを配信する。 ・ 学習した内容を発展させるような実験を提示する。その際、実験の予想をさせてから答えを提示したり、実験方法を提示し、後は、実際に学校で検証してもらうような工夫をする。 ・ 観察、実験において、個人やグループの考えを聞き、課題解決に向けて適切なアドバイスをする。 ・ 児童生徒の作品にアドバイスをする。 ・ 学校間交流で観察、実験の成果を発表しあう。 ・ 教員対象の観察、実験講習会(ガスバーナーの使い方について、8名くらいで講習会を行った)や事前準備などで、教員に実験の方法や視点を指導する。 ・ 指導主事が、最も得意とするところを、スポット的にかかわっていくことが、学校の先生方にも刺激になると思う。(学校の授業の流れに「沿う」ことを第一義にしないでよいのではないか) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際に学校でも観察や実験ができる内容を行う。 ・ 練習問題の解説など、演習的な内容の授業にかかわる。しかし、学校では基礎・基本の定着を考え、予想、観察、実験、考察、まとめの後、ドリル的な演習を行う。その際、思考の手助けをするシミュレーションや確認のための観察、実験、考え方を提示するは効果がないとは言えない。 ・ 担当教師と同じ役割を担う。あるいは、指導主事がT1で学校の授業者がT2となり授業を進める。 ・ 一方的な提示で終わる。(やがてあきがる) ・ 担当教師からの提案に縛られすぎること。(担当教師の指導観にインパクトを与えることができない、という意味で) ・ 担当教師のねらいが明確でないまま授業にかかわる。 ・ 担当教師が自分で教材研究をせずに、安易に資料の提供を求める場合、T V 授業以外の学校での指導に疑問を感じる。

教科	効果があると思われる利用	効果があまり期待できないと思われる利用
生活	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の学習意欲が高まるような作品を紹介する。 ・ 児童のアイデアを聞き、それについてアドバイスする。 ・ 他校と交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長時間にわたり配信する。 (低学年は15分程度が望ましい)
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒の演奏を聴き、表現の工夫や、歌詞のイメージの広げ方、曲想を生かす楽器の選び方や奏法について講評、助言する。 ・ 鑑賞において、聴く視点を与えたり、学習シートへの記入にヒントを与える。 ・ 事前の指導計画段階で、学習展開や教材選択について助言する。 ・ 日頃の音楽科指導や評価について、悩みや相談に応じる授業研究会を行う。 ・ 音質などにはやや難もあるが、場合によって範奏、範唱をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個々の児童生徒やグループへのアドバイスは、授業形態や、担当教師のかかわり方に課題が多かった。助言が全体の子どもに共有できるような学習過程の工夫が大切である。 ・ 特に「歌唱」表現に対する児童生徒への直接的な指導は困難である。(細かい交互のやりとりの必要性、息づかいをつかませられない)
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校高学年以上の児童生徒と、1対1で作品について語り合うこと。(完成、未完成は問わず)このとき担当教師を含め教室の全員が視聴していれば、鑑賞の時間としてある程度効果はあると思う。 ・ 授業中の活用とは言えないが、授業の構想を担当教師とやりとりする中で、いろいろな準備を共にできたことがよかった。図工は授業の本番より、前段階の仕込みが重要である。今回協働した担当教師のほとんどは、「こんなに図工のことを一生懸命考えたのは初めてだ。」と話してくれた。これによって授業がよくなったとすればこれ以上の効果はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初期段階で題材との出会いを指導主事に頼みたいとする要望があったが、導入は題材の全体像と密接にかかわることなので、担当教師が行わなければならないと考え、お断りした。 ・ 普通の授業のつもりで臨むと、製作中の児童生徒の作品など見たいものが見えない、聞きたい声が聞こえないという状況に歯がゆさがつる。 ・ 小学校低学年の児童とのやりとりは難しい。 ・ 技能の演示を求められるが、そのことが児童生徒の工夫する姿勢を損なわないようにするには、デリケートな配慮が必要である。テレビのこちら側では適切さの度合いが分からないことが多い。
技術・家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校でできない実験や実習等の提示をする。 ・ コンピュータやインターネット等の専門的な内容の解説や、生徒の疑問や質問等へのアドバイスを ・ する。 ・ 視覚に訴える実験をする。例えば、洗剤の洗浄作用、1日着用した下着等の衣類がどれくらい汚れているかを試薬を使って示すなどである。 ・ 調理実習の時間に、例えば、材料の切り方、盛りつけ、食卓作法、ホワイトソースの作り方を組み入れて示す。 ・ ロールプレイングを演じ、それを見た生徒が話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学級全体を対象とした、一斉指導的な内容の授業へ参加する。 ・ 実習的な内容の授業へ参加する。 ・ 理論の講義をする。
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各運動のポイントや補助の仕方などの支援など。(跳び箱運動の開脚跳びのポイントなど) ・ 各運動と関連した準備運動の紹介。 ・ 場の設定の支援や用具の工夫例などを紹介。 ・ 保健学習で、指導しにくい内容(思春期の体、エイズ、性感染症など性教育に関する事)などは、よいと思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各運動の紹介だけで終わる授業では、あまり効果がないと思う。まずは先生方の指示で子どもたちが活動し、その運動のポイントをセンター側からアドバイスを与えるような授業がよいと思う。
英語	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定の生徒と英語でやりとりをする。(生徒のインタビューに答え、他の生徒はメモをとるような活動) ・ 生徒のスキットやスピーチを聞いて、評価したりコメントする。 ・ スピーチやALTとの会話を聞かせたり、それについての質問をしたりして、生徒の聞く活動の支援をする。 ・ 異文化理解のための情報を提供する。 ・ 教員の研修の支援をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒全員を対象にして、インタラクション(やりとり)しながら、語彙や文法の指導をしたり、英文の内容把握を進めるような授業にかかわる。 ・ ペアやグループなどの学習形態で行われている聞いたり話したりするコミュニケーション活動に対して支援する。 ・ 書く活動において指導したり支援したりする。

教科	効果があると思われる利用	効果があまり期待できないと思われる利用
特殊教育・生活単元学習他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業づくりに関して、あらかじめ、質問を受けておき、それに回答しながら、授業を考えていくスタイルであるならば、よりよい授業をつくる上で効果的であると思われる。 ・ 対象となる児童生徒の人数が少ない時は、授業の様子を見せていただき、担当教師の悩みに答えたり改善のための視点について感想として述べたりすることができると思われる。 ・ 授業に活用できる教材・教具の紹介を具体物を見せて行うことが可能である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害のある児童生徒に、実際にかかわらずに画面を通して、授業をするのはあまり効果があるとは考えられない。画面上のタイムラグが大きく影響するようになる。
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別に発表方法を指導する場面で利用する。 ・ グループ別学習における、テーマ選定方法、調査方法などに関する助言の場面で利用する。 ・ 児童生徒一人一人の相談にのりながら支援する場面で利用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学級全員に対して長時間語りかけるような展開で利用する。(短時間であれば効果が期待できる。) ・ 担当教師が指導できる内容を指導主事が行うような利用をする。(センターでなければできないこと、期待されることを明確にしなければTV授業の特色が生かされない) ・ 学校所在地の地域の事情を知らない指導主事が、地域の特性に根ざしたテーマを追究する学習への指導をする。 ・ 児童生徒一人一人の相談にのりながら支援する場面での利用は、個に対しては有効だが、多くの児童生徒がお客さんになるような利用の仕方をする。